

2025
月刊

すざかしどうぶつえん

12月号 No.296

12月の休園日：1日（月）、8日（月）、15日（月）、22日（月）、
29日（月）、30日（火）31日（水）



年末年始の休園のお知らせ

12月29日（月）～1月3日（土）の期間は休園いたします。
1月4日（日）からは通常開園します。

今月のイベント

12月20日(土)～12月21日(日) 【メリー・クリスマZOO】

12月28日(日) 【干支の引継ぎ式】

詳しい内容はホームページをご覧ください。



オグロプレーリードッグの足



エサは前足で持つて食べる。



前足、後ろ足ともに人間と同じように5本の指がついている。



足の裏にはあまり毛が生えていない。

野生ではこの足を器用に使い、地面に巣穴を掘って生活している。

～どうぶつの冬の準備～

冬が近づくと動物たちは、寒さにそなえて「冬のしたく」を始めます。夏は暑さに対応できるように通気性の良い短い毛「夏毛（なつげ）」で生活していましたが、寒くなるにつれて、徐々に「モコモコ」の長い毛「冬毛（ふゆげ）」に生え変わります。

冬毛は保湿性が高く、冷たい風や雪の日でも、体のあたたかさを守ってくれます。
そして、春から夏になるとその時は、その冬毛が抜けて、また夏毛に生え変わります。

このように動物たちは、自分の体で四季を感じ「季節の衣がえ」をしています。

ロバの「アイボン」を観察してみると・・夏毛は目がくっきり見える「カッコイイ！アイボン」になり、反対に冬毛は、おでこにアフロを付けたくらいに毛が伸び「可愛い♡アイボン」に変身して、見た目が変わります。

当園にはロバの他にも寒い須坂の冬を乗り越えるために「モコモコ」の冬毛に変身している動物たちがいます。そんな様子もぜひ観察してみてください♪

南園担当 原田



夏毛（なつげ）



冬毛が伸び始めて
きました



冬毛（ふゆげ）



20歳を迎えたシンちゃん

ハクビシンのシンちゃん（♀）は、2005年9月に県内で保護され、須坂市動物園へやってきました。

ハクビシンは、ジャコウネコ科で「大きくて丸い瞳」と、種名の由来になっている「鼻筋の白い線」が特徴的です。

ハクビシンは漢字で「白鼻芯」と書くんですよ。

野生化では寒さを凌ぐため、人間の家屋（屋根裏）に棲みついたり、また、甘い果物が大好きで収穫前の農作物を食べてしまいます。

ハクビシンの寿命は「野生で約10年」「飼育下で15年～20年」とされています。生後間もなく保護されて来たシンちゃんも20年の時を経て、すっかりおばあちゃんになりました。ハクビシンは夜行性のため夜に活動し、日中はほとんど寝て過ごします。寒さが苦手で、すぐハンモックの中に入ってしまうので、来園者に気づかれないこともしばしば・・・。

なかなかスポットライトの当たらない動物ではありますが、シンちゃんには魅力がたくさん!! 週末にはシンちゃんのガイドを不定期で開催しています！シンちゃんを観察するには15時～16時頃の餌の時間が狙い目ですよ♪ ハクビシン担当 谷川



須坂市動物園／臥竜公園管理事務所

Tel : 026-245-1770 Fax : 026-248-1793

HPは、こちら

